

異国情緒たつぷり！朝鮮通信使行列

みなと
 厳原港まつり対馬アリラン祭さい

日韓の交流の歴史に大きな足跡を残した朝鮮通信使行列を再現する「厳原港まつり対馬アリラン祭」が、8月6日、7日の2日間、厳原港東浜ふ頭をメイン会場に開催されました。

6日、祭りは夏の強い日差しの中で「子どもみこし」から始まり、子どもたちは暑さに負けず元気にみこしを担いでいました。またメイン会場では巡視船の公開、水上棒取り合戦やキャラクターショーが行われ、たくさんの子連れが楽しみました。夜は地元グループや韓国学生ステージが行われました。

7日は早朝のゲートボール大会から始まり、舟グロ大会、ジェットfoil遊覧航海、腕相撲大会などが行われ、メインイベントである朝鮮通信使行列は午後3時過ぎにやぐら門をスタート。日韓国から約500名が参加し、武士や韓国の衣装を身につけ再現された行列は、江戸時代にタイムスリップしたようでした。また、地元厳原中学校の吹奏楽部やチヨゴリを着た子ども

ちが通過する度にひととき大きな拍手が起こりました。

行列のゴールは万松院の正門前、行列参加者やスタッフ等が見守るなか、正使役の趙東鎬チヨドンホさんと宗対馬守役の浦田一朗さんが国書を交換して日韓友好を誓いました。趙さんは1711年の朝鮮通信使正使の9代目子孫で、浦田氏は対馬アリラン祭振興会長です。

夜は世界で活躍するキム・ウニ・チツ舞踊団の華麗なステージと柏原芳恵ライブショーで会場は大入り満員になり、祭りは最高潮を迎えました。最後は3000発の花火が夜空を飾り、対馬市最大の祭りが終了しました。



まつりのスタート「子どもみこし」



舟グロ大会



「ウワーやられた〜」水上棒取り合戦



夜空を彩った花火



柏原芳恵ライブショー



キム・ウミ・チツ舞踊団

朝鮮通信使行列ハイライト



今年もすばらしい演技(対馬高校サムルノリチーム)



やぐら門をスタートする行列



浦田一朗祭振興会長(宗対馬守役)を先頭に整然と進む行列



足並もそろった釜山情報女子高生



見事な演技に拍手喝采



国書交換式(万松院)



華やかなチマチヨゴリ姿